

第 2 号議案— 1

品質保証研究会 令和 7 年度活動計画

1. 活動基本方針

活動成果のなお一層の充実とその活用を図るため、以下の活動を実施する。

- ・ 全会員対象の講演会、見学会を計画し、会員相互の啓発を図る。
- ・ 定例研究会活動としては、顧客ニーズの変化や技術革新など、社会が大きく変わりつつある中での品質保証/管理のあるべき姿、あるべき姿に向けた研究テーマを調査し、その結果が会員における活動に有益となるように努める。
- ・ 会員間の情報交換、コミュニケーションの場の提供を図るため、QASG ニュースを発行すると共に、ホームページの有効活用を図る。

この方針に基づき、令和 7 年度の具体的な推進計画を以下に記載し、全体の活動計画(補足)を表 1 に示す。

2. 活動計画内容

2.1 総会

第 35 回通常総会を開催する。

2.2 講演会の開催

総会終了後、定例研究会活動に関する報告を行う。

下期(令和 8 年 3 月)に 1 回の講演会を予定する。

2.3 見学会の開催

下期(令和 8 年 1 月)に 1 回の見学会を予定する。

2.4 「QASG ニュース」の発行

年度内(令和 7 年 9 月、令和 8 年 2 月、5 月)に QASG ニュース発行を予定する (計 3 回)。

2.5 定例研究会活動

(1) 第 1 グループ

研究テーマ:最新知見を踏まえた品質コンプライアンス事故を発生しない/させない QMS 等の研究

令和 6 年度は、品質コンプライアンス事故事例 7 件を調査し、品質コンプライアンス事故の抑止に寄与できる施策を提案にまとめた。令和 7 年度は、まとめた提案の十分性を高めることや、ほかに提案すべきことがないか等を検討するために、調査・研究事例を拡充する。具体的には、至近 3 年間に報告書が公表されている品質コンプライアンス違反をベースに調査対象を選定し、前年度に調査した事例にて導き出した抑止策の十分性や、新たな抑止策の必要性などを検討する。検討した結果はガイドラインへ反映を行う。

(2) 第 2 グループ

研究テーマ: NHK*1 の実践(調達先評価、監査方法の改善含む)の研究 *1: 無くす、減らす、変える

令和 7 年度は、QASG 会員企業が行う NHK 活動が一層有益なものとなるよう、前年度活動にて纏めた「NHK 実践のためのガイド」の更なる拡充を行う。まず、前年度のアンケートを通じて抽出した各社共通の課題や困っていることのうち、個社での解決が難しい項目(品質記録の保管、計測器の器差・誤差等)を NHK の観点から分析を行う。それら分析結果を新たな NHK 事例とするとともに、調達管理以外のプロセスにも焦点を当ててガイドの充実化を図ることで、各社の改善活動がより実効的かつ効果的になることを目指す。

以上

第2号議案-2

品質保証研究会・令和7年度収支予算案
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

単位:(円)

収入の部	金額	前年度予算額
会費収入	700,000 <small>会員70名想定</small>	700,000
講演会参加費収入	20,000 <small>非会員参加4名想定</small>	20,000
見学会参加費収入	12,000 <small>非会員参加4名想定</small>	12,000
その他収入	100,000	200,000
収入 計	832,000	932,000
前期繰越金	1,710,433	
合計	2,542,433	

支出の部	金額	前年度予算額
総会関係	130,000 <small>会場変更による費用 の変化を考慮</small>	700,000
定例研究会関係	150,000	150,000
講演会	300,000 <small>3回分 (特別/通常2回)</small>	150,000
見学会	20,000 <small>1回分</small>	20,000
ホームページ	142,000 <small>令和7年度分</small>	142,000
支出 計	742,000	1,162,000
予備費	1,800,433	
合計	2,542,433	